

令和8年度 第1回帯広市図書館協議会 議事概要

- 1 日時 令和8年5月19日(火) 18:30~19:45
- 2 会場 帯広市図書館 3階 会議室
- 3 出席者
委員 久保田委員、小林委員、高橋委員、高山委員、山口委員、ロメロ委員
(以上6名、鈴木委員は欠席)
事務局 村木生涯学習部長、永田図書館長、大林図書館副館長、中村図書係長、
齊藤主任補(以上5名)
報道 十勝毎日新聞社(1社)

4 会長・副会長の選出

【会長】ロメロ・ホシノ・イサミ委員

【副会長】高橋理奈委員

5 議事要旨

①令和7年度事業報告 <事務局より説明>

【委員】

来館者数は増えているのか。

【事務局】

来館者数は館内1階エントランスからBDSゲートを通過する人数でカウントしており、若干増えている。来館目的を問わずカウントしているため、要因は分析できていない。本の貸出に関しては、本館の実績は減少し、移動図書館は増加している。

【委員】

体感として、図書館の近郊でイベントが開催されていると、図書館内が空いていても駐車場が止められないことがある。

【委員】

帯広南商業高校での帯広市電子図書館利用数は多いのか。

【事務局】

多いとまでは言えないが、想定以上の利用数である。

【委員】

取り組みとして、やってよかったと感じるか。また、帯広南商業高校以外にも電子図書館の利用を広げていく想定か。

【事務局】

やってよかったと感じている。今後他の高校にも様子をみながら広げていきたい。

【委員】

帯広市図書館移転20周年記念事業として行った「3分で語る！私が図書館で出会ったおすすめ本を紹介します！」は、参加人数は少なかったものの大変面白く図書館らしい企画だと感じた。このまま単発の企画とするのは勿体なく感じる。周知の方法を再検討し、ぜひもう一度開催してもらいたい。

【委員】

高校図書館の生徒も参加しており、生徒たちにとっても大変面白いイベントだったと聞いている。討論形式のイベントではないため参加のハードルが低く、年齢が離れた方のおすすめ本を知ることができ、有意義な時間だったとのことだった。

【委員】

イベントでおすすめされた本をまとめて展示すると良いと思った。

②令和8年度予算・事業スケジュールについて <事務局より説明>

【委員】

図書館予算の資料に「防犯カメラ設置」とあるが、館内に防犯カメラを設置しているのか。

【事務局】

設置しており、館内にもその旨を表示している。

【委員】

図書に対し、切ったり落書きしたりなど悪戯の被害はあるのか。

【事務局】

図書資料は毎年切ったり書き込みしたりなどの被害がある。

【委員】

図書の悪戯被害に気付くのは利用者か。

【事務局】

利用者が気付いてくれることもあるし、図書を返却された際に職員が気付くこともある。

【委員】

予算上でも地域資料の電子化を進めている様子だが、マイクロフィルムをいつまで使用するのか。マイクロフィルム自体製造中止しており、閲覧用の機器が維持できるか心配。

【事務局】

いつまで使用するかは未定である。昨年度、電子化の取り組みとしてPDF化を試している。

【委員】

今現在社会的な問題として燃料費の高騰が挙げられる。帯広市図書館でも予算面などで影響が出ることが考えられるか。

【事務局】

燃料費が高騰することの影響は帯広市全体の問題であり、当初の予算で足りないのでは

れば全庁的な対応を行うこととなる。

③その他

なし

<閉会>